

教育

edu@asahi.com

日曜〜火曜掲載

#withyou

きみととも

ニュース4U N4U

5月末、作陽高校(岡山県津山市)の柔道部員27人が柔道着をまとい、ラグビーのユニフォーム代表が試合前にみせる民族舞踊「ハカ」を舞った。コ

ロナ禍で自宅にいた間、各自で撮影した動画を合わせたリモート・ハカだ。「コロナに負けません! 試合がなくなっても、離れていても心は一つです」。そんなメッセージを添え、YouTubeで配信した。

部員が初めて踊ったのは、昨夏の全国高校総体(インターハイ)前だった。団体戦のメンバーを鼓舞しようと、メンバー外になった。中学の先生に勧められ、作陽へ。まじめ一本やり



練習、試合、毎日、を、悔、戦、ハカ

リモートで「ハカ」柔道部の心一つ



1968年、東京都生まれ。専門は教育心理学。NGO「子どものからだ心・連絡会議」議長。子どもや保護者、現場の先生の声に傾き、子どもの心身の成長を研究する。著書に「新版 からだの “おかしさ” を科学する——すこやかな子どもへ6つの提案」(かもがわ出版)など。

SNSで読者と情報交換する「#ニュース4U」に寄せられた学校再開にまつわる悩みについて、各界の専門家らに聞きます。引き続きご意見を募集します。ツイッターでハッシュタグ「#ニュース4U」をつけて投稿してください。LINEはID「@asahi_shimbun」かQRコードで「友だち追加」をお願いします。ご意見はメール(edu@asahi.com)でも受け付けます。



(聞き手・渡辺純子)

再開後すぐ授業漬け 子ども親も戸惑い

息子が通う都内の公立小学校は、3月からずっと休校だったのに、6月の登校2日目からしっかり科目別の授業があります。ろくに学校に行っていないのに、再開、はい授業って、一体……。学校って、学習だけではないはず。息子は、学校に行く意味を見いだせずにいます。

いきなり勉強ばかりで大丈夫かな、とお母さんが不安になるのは当然です。「学校は学習だけではない」。その通りですから。私が議長を務める「子どものからだ心・連絡会議」は休校中の5月、小学生とその保護者2375組に緊急アンケートをしました。子どもたちが自身が休校中に困っていたことは、勉強を教えてもらえない(39%)より、思うように外に出られない(61%)、友だちに会えない(57%)でした。子どもにとって学校の存在意義は、勉強より、外に出て友だちに会うことなんです。なのに学校が始まったとたん、勉強勉強となれば、子どもたちが困るのは当然です。

体と心の調子 安定してから

授業が遅れて先生方が焦るのも分かります。1日7コマの授業や夏休み短縮、学校行事の中止などが検討されていると耳にします。でも休校で子どもの生活リズムは崩れ、体と心の調子も乱れました。アンケートで「集中できない」「やる気が出ない」「イライラする」と答えた子どもはそれぞれ約4割いました。学校が始まって体と心はすぐには元に戻らない。いきなり授業ばかり詰め込んで、集中するのは難しいでしょう。

子どもは本来、群れて育つものです。言ってみれば「3密」の中で成長します。いまは身体的な「密」を回避しつつ、精神的な「密」をどう引き出すかを考えるのは、勉強を詰め込むことにはならないはずで「教育」はこれまでも子どもたちはこの休校中、きつと何かを学んだはず。「ゲームをしすぎる」と疲れると分かった「も、立派な学びですよ。子どもの声に寄り添い、無意識のうちに学んだことを意識化してあげることで、真の学びになる。こういう時だからこそ発想の転換が必要ですよ。日本の教育を考え直す時期だ」と思います。



柳沢 幸雄 共育考

教員の労働生産性

生徒と向き合う時間に重心を

の使に、う、欧、二、高、生、て、評、る、風、邪、に、宅、を、え、は、T、と、く、た、合、I、の、徒、の、ス、類、作、や、面、で、ロ、ナ、教、育、時、間、類、作、ほ、し、間、と、軸、に、く、術、は、知、っ、て、な、ど、は、得、た、材、た、よ、な、る、得、る、は、学、校、注、り、対、応、6